

広島市植物公園 見どころ案内

2018年8月4日

通巻第380号

7/21(土) ~ 8/30(木) サマーフェア

展示会のご案内

- ◇ 展示温室 (7/21~8/19)
- 世界の食虫植物展
- ◇ 展示資料館 (7/28~9/5)
- ボタニカルアート作品展

ヒゴタイ (キク科)

日本では九重~阿蘇山山麓、広島・愛知・岐阜の各県の限られた場所に生える希少な野草です。近縁種に切花で流通するルリタマアザミがあります。

レンゲショウマ (キンポウゲ科)

日本固有種で1属1種の植物です。ビー玉のようなつぼみから、ハスを逆さまにしたような可憐な花を咲かせています。

ブルーベリー (ツツジ科)

北アメリカ原産のスノキ属の落葉低木果樹の総称で、原種がいくつかあります。たわわに実をつけています。日本にもスノキやクロマメノキなど近縁種があります。

オジギソウ (マメ科)

南アメリカ原産で、夏にピンク色で小さいボール状の花を咲かせます。葉に触れると閉じる「動く植物」です。

熱帯
スイレン
温室
休館中

通行止め

サギソウ (ラン科)

日本原産の湿地の野草です。白い清楚な花はサギが羽根を広げたように見えます。当園のシンボルマークにもなっています。

タベグイア (ノウゼンカズラ科)

桃花イペーともいいます。ピンクの花が満開です。木材は硬くて腐りにくく、大温室のウッドデッキに使われています。

ゴレンシ (カタバミ科)

東南アジア原産で、果樹として栽培されています。現在、ピンクの花が咲いています。果実を輪切りにすると星形になるのでスターフルーツといえます。

キバナコスモス (キク科)

花の迷路ではキバナコスモスが満開です。迷路の楽しさと花の美しさをご堪能ください。

ロシアヒマワリ (キク科)

種子を油や飼料に使うために改良された品種で、背丈が高く、また人の頭より大きな巨大な花を咲かせることが特徴です。ロシア・ペルーの国花としても知られています。

夏花壇の植物

花壇の植替えを行いました。センニチコウ、ペントス、コリウス、パーベナ、メランポジウム、トウガラシなどが見られます。大温室前はアンゲロニアの花壇です。

